

# 石狩産 を訪ねて

市場に並ぶときにちょうど良い状態になるよう「オレンジ出し」「赤出し」など、収穫する色の濃さを変えて札幌や東京、徳島などへ出荷します。



石狩みのりファーム  
佐々木洋実さん

添えるだけで彩りよく  
いろいろな料理に使える  
ミニトマトを  
食卓にどうぞ

## 八幡町 高岡の ミニトマト

食卓に並ぶ料理は、目でもおいしさを感ずるもの。佐々木洋実さんひろみが「料理やお弁当で色が欲しいときに使ってもらえれば」と思いを込めて育てるのは、赤・オレンジ・緑色のミニトマト。その色鮮やかな3色ミックスは、中でも人気の商品です。ファームがある高岡は風の強いところ。「海風に育まれるからでしょうが、甘さと酸味のバランスが良いのです」と佐々木さん。品種改良で

甘みの強いものが増える中、「トマトらしい懐かしい味がする」とファンも多くなります。子育てが一段落し「長く続けられるものづくりの仕事をしたい」と飛び込んだのは農業の世界。惜しみなくノウハウを教えてくれる先輩に支えられ、農薬に頼らず、有機物による土づくりなどを試行錯誤しながら、大好きなミニトマトづくりに汗を流す毎日です。



品種・キャロル10テンのうち石狩産のものを、「いしかり DE CHU!!」チュウのブランド名で販売しています

色が薄い実は  
室温  
真っ赤な実は  
冷蔵庫で  
保管を

高岡の海風で  
自然に  
受粉

収穫期は  
6月下旬～  
11月上旬

ミニトマト  
memo

# 若者 しごと図鑑

「誰かの役に立ちたい」と日々奮闘する石狩の若者が、自身の仕事を熱く語る新コーナー。初回は、石狩消防署の牛山消防士が登場です！

☎ 秘書広報課 ☎ 72・3145

私は現在、浜益支署に所属しています。海や山など自然豊かな環境は、日々学ぶことがとても多いです。



専門学校では、救急救命士の資格取得のため救急医学を学ぶ一方、消防士となるべく公務員試験の勉強も。大変でしたが、やりがいがあります。



浜益支署は12人の消防士が2つの課に分かれ、24時間勤務→24時間休み→24時間勤務→72時間休み…という体制で勤務しています。



## 救急救命士

「予期せぬ事故や病気で助けを求める人々に、適切な処置をし医療機関へつなぐ仕事です。」

石狩消防署 牛山恭太 消防士(24歳)



救急車で出動するときは  
感染防止衣

パワーリフティング  
で鍛えた腕力・脚力で  
傷病者の搬送もスピーディーに！



消防車で出動するときは  
防火服

総重量  
約20kg！



普段は  
活動服

### なぜ消防士を目指したの？

子どもの頃から消防士に向いていると言われ、体力に自信があったので高校を生からこの仕事を真剣に目指しました。救急救命士(国家資格)を取得したのは、命を救う最前線の現場で自分の力を生かしたいと思ったからです。

### この仕事で必要なのは？

知識と経験、そしてコミュニケーション能力だと思います。私は人見知りをする方なので、できるだけ自分から「暑くないですか?」などと声をかけるよう努めています。そうすることで、相手の気持ちも考えられるようになりました。

「実は…/  
パワーリフティング 世界大会3位に!  
専門学校在学中に、体力向上のためパワーリフティングを始めました。持ち上げたときの達成感が最高で、6月に南アフリカ共和国で行われた世界大会では66kg級の日本代表として出場。3位になることができました。写真は「デッドリフト」という種目で、282.5kg(日本新記録)を持ち上げたところ。次の世界大会では優勝を目指して頑張ります！



### ◆プロフィール◆

音更町出身、北海道ハイテクノロジー専門学校卒業。  
石狩消防署での勤務歴は4年。